

香久山 小学校区

(1) 地域の概況

名古屋市名東区の住宅地区の東に位置する都市基盤が整備された市街地であり、全域が市街化区域となっています。地区の中央やや南に大規模店舗を中心とした土地利用がなされており、周囲には中高層住宅が多く立地していますが、その他は概ね低層中心の住宅地区となっています。水晶山緑地等の公園・緑地もあり、都市施設が整った地区です。

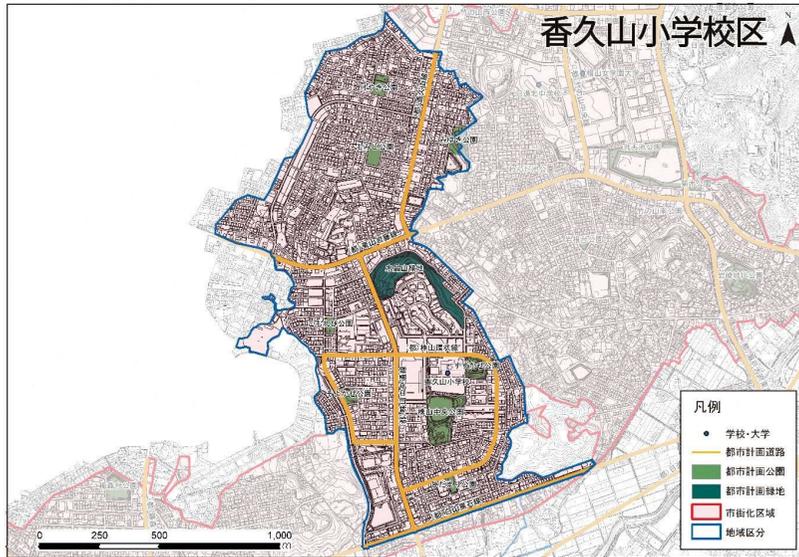


図 6-33 香久山小学校区の現況図

地域内の人口密度は、概ね人口密度 75 人/ha 以上と高い密度の中に、公園や学校、店舗が立地し市街地が形成されています。

また、市内の他地域に比べると、生産年齢人口の年齢比が高いことが特徴ですが、近年は、若年層の人口減少と、65 歳以上の高齢者の増加率が高くなっており、世代間バランスの転換が起きている地域の一つです。

表 6-7 香久山小学校区の概況

面積 (ha)	146.14		146.14		89.20	
	市街化区域 (ha)		市街化調整区域 (ha)		人口密度 (人/ha)	
			0.00			
人口	2015年 (人)		2019年 (人)		年齢比(2019年)	
					増減率(2015年-2019年)	
	2015年	2019年	香久山小学校区	市全体	香久山小学校区	市全体
0~18歳	3,076	2,664	20.4%	20.6%	-13.4%	1.6%
19~65歳	8,435	8,483	65.1%	60.2%	0.6%	3.5%
65歳以上	1,471	1,889	14.5%	19.1%	28.4%	11.0%
合計	12,982	13,036	100.0%	100.0%	0.4%	4.5%

(資料:人口/にっしんの統計書 面積/図上測量による)

香久山 小学校区

(1) 地域の概況

名古屋市名東区の住宅地区の東に位置する都市基盤が整備された市街地であり、全域が市街化区域となっています。地区の中央やや南に大規模店舗を中心とした土地利用がなされており、周囲には中高層住宅が多く立地していますが、その他は概ね低層中心の住宅地区となっています。水晶山緑地等の公園・緑地もあり、都市施設が整った地区です。

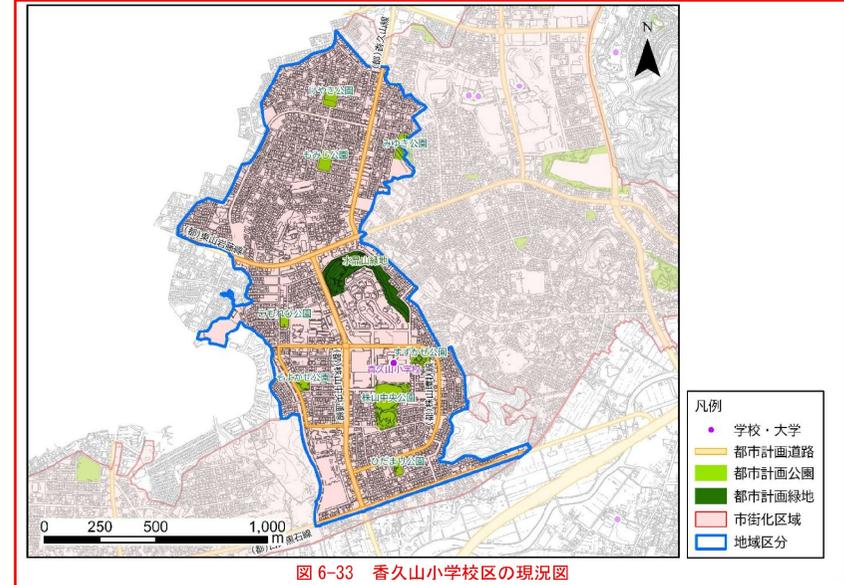


図 6-33 香久山小学校区の現況図

地域内の人口密度は、概ね人口密度 75 人/ha 以上と高い密度の中に、公園や学校、店舗が立地し市街地が形成されています。

また、市内の他地域に比べると、生産年齢人口の年齢比が高いことが特徴ですが、近年は、若年層の人口減少と、65 歳以上の高齢者の増加率が最も高くなっており、世代間バランスの転換が起きている地域の一つです。

表 6-7 香久山小学校区の概況

面積 (ha)	146.14		146.14		87.42	
	市街化区域 (ha)		市街化調整区域 (ha)		人口密度 (人/ha)	
			0.00			
人口	2019年 (人)		2022年 (人)		年齢比(2022年)	
					増減率(2019年-2022年)	
	2019年	2022年	香久山小学校区	市全体	香久山小学校区	市全体
0~18歳	2,664	2,337	18.3%	20.3%	-12.3%	0.5%
19~64歳	8,352	8,146	63.8%	59.5%	-2.5%	2.4%
65歳以上	2,020	2,293	17.9%	20.2%	13.5%	3.9%
合計	13,036	12,776	100.0%	100.0%	-2.0%	2.3%

(資料:人口/日進市オープンデータ 面積/図上測量による)

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

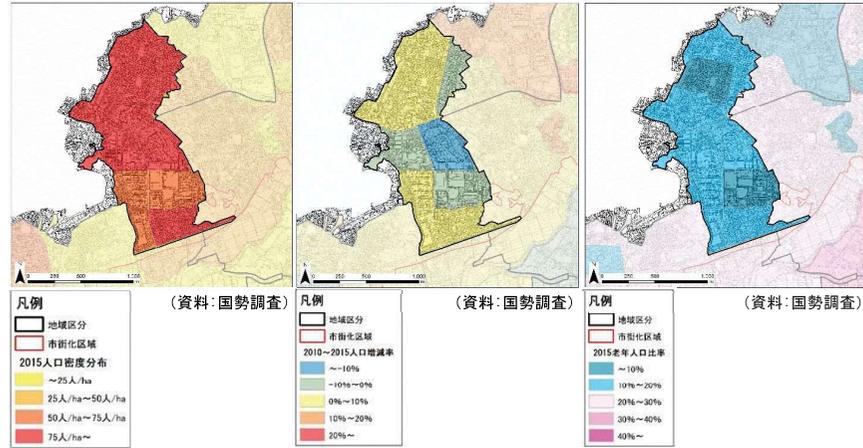


図 6-34 2015 年人口密度分布 図 6-35 2009 年～2015 年人口増減率 図 6-36 2015 年老年人口比率

(2) 地域の特徴

地域の魅力や資源である「強み」と、地域の問題・課題である「弱み」を把握するため、市民アンケート調査及び地域別ワークショップにおいて意見を伺いました。

【強み（魅力・資源）】

- ・治安が良く、まちなかの道路はきれいに整備されている。
- ・名鉄バスで栄・名古屋駅へのアクセスが便利である。
- ・ショッピングセンター等のお店が多くて、生活が便利である。
- ・水晶山緑地や株山中央公園等は緑が多く、きれいである。
- ・香久山小付近は、高台にあり緑も多く、気分良い。等

【弱み（問題・課題）】

- ・幹線道路が混雑するため、住宅街の脇の道路に入り込む車が多い。
- ・市役所へのアクセスが不便である等、公共交通機関が整備されていない。
- ・緑は多いが、薄暗くて通行がしにくい。街路灯も少ない。
- ・山の木が混みすぎているので、間引きして風通しの改善が必要である。
- ・維持管理が不十分で、緑や野鳥が減少している。等

(3) 地域のまちづくりの目標

本地域は、土地区画整理事業により形成された住宅地が成熟し、計画的に配置された公園・緑地により緑が確保され、生活利便施設も整っています。

本地域では、成熟した都市機能によるコンパクトにまとまった生活圏を維持することにより、**どの世代も快適に暮らし続けられるまち**を目指します。

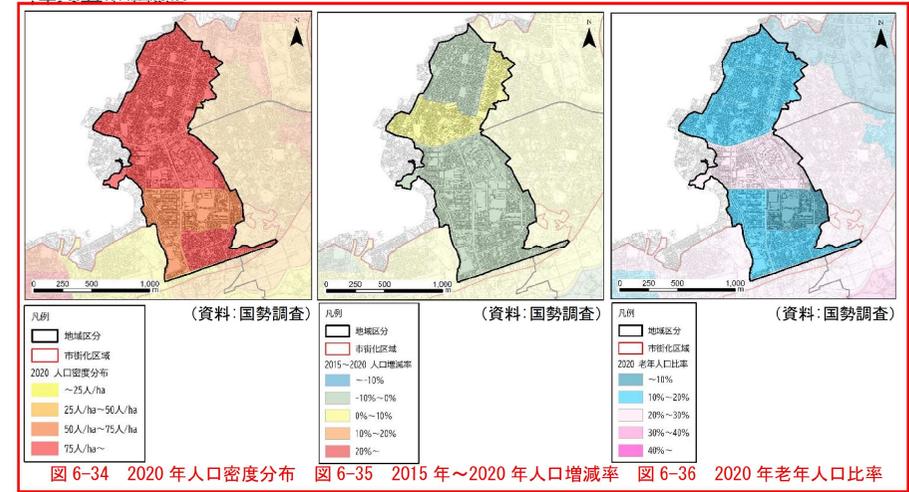


図 6-34 2020 年人口密度分布 図 6-35 2015 年～2020 年人口増減率 図 6-36 2020 年老年人口比率

(2) 地域の特徴

地域の魅力や資源である「強み」と、地域の問題・課題である「弱み」を把握するため、市民アンケート調査及び地域別ワークショップにおいて意見を伺いました。

【強み（魅力・資源）】

- ・治安が良く、まちなかの道路はきれいに整備されている。
- ・名鉄バスで栄・名古屋駅へのアクセスが便利である。
- ・ショッピングセンター等のお店が多くて、生活が便利である。
- ・水晶山緑地や株山中央公園等は緑が多く、きれいである。
- ・香久山小付近は、高台にあり緑も多く、気分良い。等

【弱み（問題・課題）】

- ・幹線道路が混雑するため、住宅街の脇の道路に入り込む車が多い。
- ・市役所へのアクセスが不便である等、公共交通機関が整備されていない。
- ・緑は多いが、薄暗くて通行がしにくい。街路灯も少ない。
- ・山の木が混みすぎているので、間引きして風通しの改善が必要である。
- ・維持管理が不十分で、緑や野鳥が減少している。等

(3) 地域のまちづくりの目標

本地域は、土地区画整理事業により形成された住宅地が成熟し、計画的に配置された公園・緑地により緑が確保され、生活利便施設も整っています。

本地域では、成熟した都市機能によるコンパクトにまとまった生活圏を維持することにより、**どの世代も快適に暮らし続けられるまち**を目指します。

(4) 将来都市構造上の位置づけ

市街地ゾーン

- 計画的に整備された市街地については、都市機能が充実した生活圏と、農業集落と調和した現在の土地利用及び居住環境の維持を図ります。

地域生活拠点

- 香久山地区の既存商業地を地域生活拠点と位置づけ、コンパクトにまとまった生活圏の構築を目指し、日常的な生活利便施設等の維持・形成を図ります。

自然環境拠点

- 水晶山緑地については、市民と自然が共存する空間の創出を図ります。

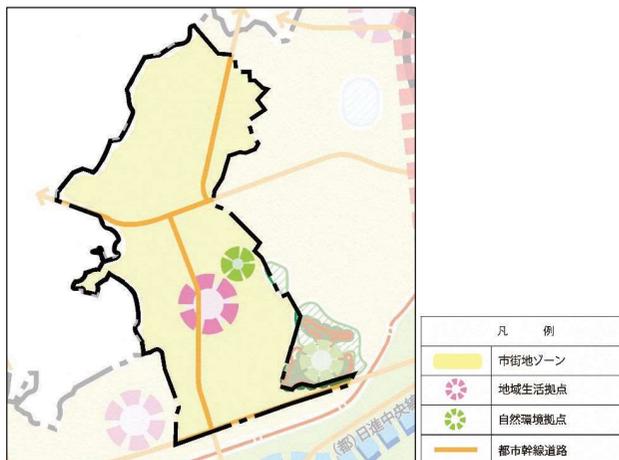


図 6-37 将来都市構造上の位置づけ (香久山小学校区)

(5) 地域のまちづくりの方針

ア 土地利用の方針

(ア) 市街化区域

低層住宅地区

- 計画的に整備された低層住宅を主体とした住宅市街地については、現在の居住環境を維持しつつ、周辺とのバランス・調和を図るため、低層住宅を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持
- ・建築物の建替え時における形態意匠のコントロールを目的とした地区計画等の策定の支援

(4) 将来都市構造上の位置づけ

市街地ゾーン

- 計画的に整備された市街地については、都市機能が充実した生活圏と、農業集落と調和した現在の土地利用及び居住環境の維持を図ります。

地域生活拠点

- 香久山地区の既存商業地を地域生活拠点と位置づけ、コンパクトにまとまった生活圏の構築を目指し、日常的な生活利便施設等の維持・形成を図ります。
- **居住誘導にも寄与する都市機能の維持・誘導を図り、都市機能の集積を高めます。**

自然環境拠点

- 水晶山緑地については、市民と自然が共存する空間の創出を図ります。

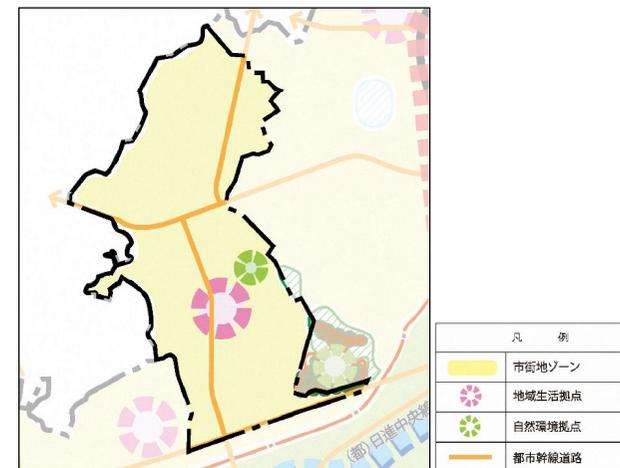


図 6-37 将来都市構造上の位置づけ (香久山小学校区)

(5) 地域のまちづくりの方針

ア 土地利用の方針

(ア) 市街化区域

低層住宅地区

- 計画的に整備された低層住宅を主体とした住宅市街地については、現在の居住環境を維持しつつ、周辺とのバランス・調和を図るため、低層住宅を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持
- ・建築物の建替え時における形態意匠のコントロールを目的とした地区計画等の策定の支援

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

現行計画

中高層住宅地区

- 計画的に整備された中高層住宅を主体とした住宅市街地については、公共交通網の利用促進や多様な都市機能の集積によるコンパクトな生活圏の構築のため、中高層住宅を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持

一般住宅地区

- 土地区画整理事業により計画的に整備された住宅市街地については、今後も現在の住居系土地利用を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持
- ・地区内の低・未利用地について、日常的な生活利便機能や、多様な世代のニーズに対応した居住機能に着目した土地利用の誘導

住商複合地区

- 土地区画整理事業等により計画的に整備された地区内の近隣商業地域については、周辺に立地する中高層住宅と一体となってコンパクトな生活圏の構築を図るため、生活利便施設等を主体とした土地利用を誘導します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持

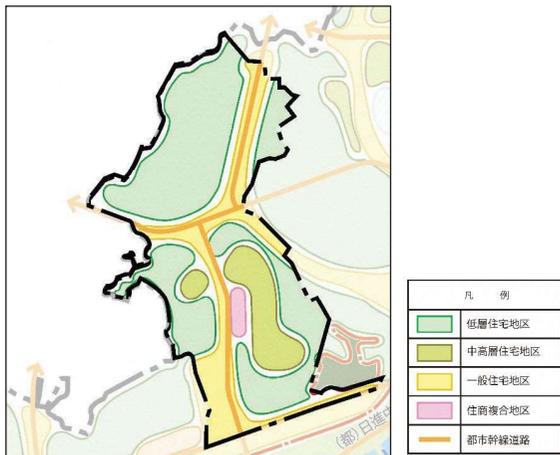


図 6-38 土地利用方針図（香久山小学校区）

中間見直し

中高層住宅地区

- 計画的に整備された中高層住宅を主体とした住宅市街地については、公共交通網の利用促進や多様な都市機能の集積によるコンパクトな生活圏の構築のため、中高層住宅を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持

一般住宅地区

- 土地区画整理事業により計画的に整備された住宅市街地については、今後も現在の住居系土地利用を主体とした土地利用を維持します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持
- ・地区内の低・未利用地について、日常的な生活利便機能や、多様な世代のニーズに対応した居住機能に着目した土地利用の誘導

住商複合地区

- 土地区画整理事業等により計画的に整備された地区内の近隣商業地域については、周辺に立地する中高層住宅と一体となってコンパクトな生活圏の構築を図るため、生活利便施設等を主体とした土地利用を誘導します。

〈規制誘導の方針〉

- ・原則、現在の用途地域指定を維持

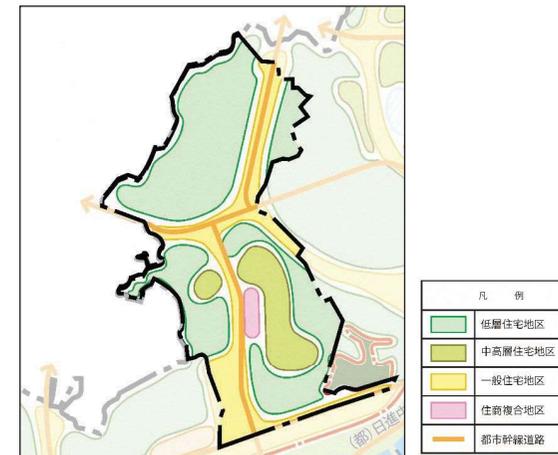


図 6-38 土地利用方針図（香久山小学校区）

イ 都市交通施設の方針

(ア) 幹線道路等

幹線道路

- 道路舗装等については、長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を図ります。
- 補助幹線道路については、都市幹線道路等を補完し、日常的な生活圏相互を連絡する役割を担う路線を適切に配置し、整備を推進します。

生活道路

- 通過交通が多く交通安全上課題のある生活道路及び歩行者の利用が多い通学路等の生活道路については、交通安全対策の実施を検討します。
- 歩行者が安全で快適に通行できるよう歩道を整備し、バリアフリー化や児童生徒のための通学路整備を行います。

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 規制づくりと規制を守る意識 等

検討路線

- 香久山西部地区と既成市街地をつなぐ路線の整備を検討します。

(イ) 公共交通等
バス

- くるりんばすについては、利用者増に資するバス停付近における乗降環境の向上や、ソフト施策等の充実を図ります。
- 周辺市町のコミュニティバス等との連携による広域的な移動手手段の強化や、新たな交通手段の導入について検討します。

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ くるりんばすの利用向上 ・ 「市民交通」という考え方を実現 等

ウ 公園・緑地等の方針

(ア) 公園・緑地等

- 市民の憩いの場、健康増進、子育て支援等に必要な公園・緑地については、施設利用の安全確保を最優先に行いつつ、地域と協力して身近に利用できる公園・緑地等の確保を図ります。
〈具体的な整備方針〉
- ・ 既存の公園について、計画的な公園遊具の修繕、入れ替え及び計画的な植栽剪定等の実施

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 健康的でゆったりした施設整備 ・ 雑草等の管理 等

(イ) 緑化

- 森林や農地等といった既存の緑を活用することで、健全で良質な緑を維持していくとともに、市民、行政等が協働して身近な生活空間に質の高い緑の創出に努めます。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 民間施設の屋上緑化や壁面緑化等の促進、身近に質の高い緑がある良好な居住環境の創出
- ・ 緑の普及啓発につながる募金や各種講座を実施

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 都市と自然のバランスを考える ・ 街路樹の適正な管理 等

イ 都市交通施設の方針

(ア) 幹線道路等

幹線道路

- 道路舗装等については、長寿命化計画に基づき、計画的な修繕を図ります。
- 補助幹線道路については、都市幹線道路等を補完し、日常的な生活圏相互を連絡する役割を担う路線を適切に配置し、整備を推進します。

生活道路

- 通過交通が多く交通安全上課題のある生活道路及び歩行者の利用が多い通学路等の生活道路については、交通安全対策の実施を検討します。
- 歩行者が安全で快適に通行できるよう歩道を整備し、バリアフリー化や児童生徒のための通学路整備を行います。

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 規制づくりと規制を守る意識 等

検討路線

- 香久山西部地区と既成市街地をつなぐ路線の整備を検討します。

(イ) 公共交通等
バス

- くるりんばすについては、利用者増に資するバス停付近における乗降環境の向上や、ソフト施策等の充実を図ります。
- 周辺市町のコミュニティバス等との連携による広域的な移動手手段の強化や、新たな交通手段の導入について検討します。

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ くるりんばすの利用向上 ・ 「市民交通」という考え方を実現 等

ウ 公園・緑地等の方針

(ア) 公園・緑地等

- 市民の憩いの場、健康増進、子育て支援等に必要な公園・緑地については、施設利用の安全確保を最優先に行いつつ、地域と協力して身近に利用できる公園・緑地等の確保を図ります。
〈具体的な整備方針〉
- ・ 既存の公園について、計画的な公園遊具の修繕、入れ替え及び計画的な植栽剪定等の実施

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 健康的でゆったりした施設整備 ・ 雑草等の管理 等

(イ) 緑化

- 森林や農地等といった既存の緑を活用することで、健全で良質な緑を維持していくとともに、市民、行政等が協働して身近な生活空間に質の高い緑の創出に努めます。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 民間施設の屋上緑化や壁面緑化等の促進、身近に質の高い緑がある良好な居住環境の創出
- ・ 緑の普及啓発につながる募金や各種講座を実施

☞ 関連する WS の取組みアイデア ・ 都市と自然のバランスを考える ・ 街路樹の適正な管理 等

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 課題の整理
3 都市づくり上の理念と基本目標
4 将来都市構想
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 課題の整理
3 都市づくり上の理念と基本目標
4 将来都市構想
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

(ウ) 緑の保全

- 後世まで残していく緑については、それらが持つ機能を最大限に発揮できるように活用しながら保全していきます。
- 水晶山緑地については、市民と自然が共存する空間の創出を図ります。

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 環境保全

エ 下水道及び河川等の方針

(ア) 下水道

- 快適な都市基盤整備を目指し、市街化の動向・見通しとの整合を図るとともに、生活環境保全に努めながら、災害時の対策、維持管理の効率性等を検討しつつ、整備を図ります。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 北部処理区について、処理場及び管渠の計画的な維持管理

(イ) 河川等

- 市管理の河川等については、計画的な整備を図ります。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 新規の大規模開発における調整池について、治水環境に配慮した流出抑制対策
- ・ 行政が管理している河川・排水路の計画的な護岸修繕や定期的な草刈作業等
- ・ 老朽化した側溝や雨水排水施設の計画的な改修

オ 市街地整備の方針

(ア) 既成市街地の整備

- 土地区画整理事業等により計画的な整備がなされた地区については、良好な居住環境を維持します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 今後増加が予測される空家の利活用や、除却に向けた取組みを引き続き実施

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 既存の公共施設の利活用

(ウ) 緑の保全

- 後世まで残していく緑については、それらが持つ機能を最大限に発揮できるように活用しながら保全していきます。
- 水晶山緑地については、市民と自然が共存する空間の創出を図ります。

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 環境保全

エ 下水道及び河川等の方針

(ア) 下水道

- 快適な都市基盤整備を目指し、市街化の動向・見通しとの整合を図るとともに、生活環境保全に努めながら、災害時の対策、維持管理の効率性等を検討しつつ、整備を図ります。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 北部処理区について、処理場及び管渠の計画的な維持管理

(イ) 河川等

- 市管理の河川等については、計画的な整備を図ります。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 雨水量の増加が見込まれる大規模開発等が行われる場合、治水環境に配慮した流出抑制対策
- ・ 行政が管理している河川・排水路の計画的な護岸修繕や定期的な草刈作業等
- ・ 老朽化した側溝や雨水排水施設の計画的な改修

オ 市街地整備の方針

(ア) 既成市街地の整備

- 土地区画整理事業等により計画的な整備がなされた地区については、良好な居住環境を維持します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 今後増加が予測される空家の利活用や、除却に向けた取組みを引き続き実施

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 既存の公共施設の利活用

カ 都市防災の方針

- 平時から様々な分野での取組みを通じ、地域における自助・共助による防災・減災力を高め、災害に強い地域づくりを図ります。

〈具体的な整備方針〉

- ・ 避難所等について、防災対策マップ等の誰にとってもわかりやすい資料の配布による市民への周知
- ・ 近隣商業地域については、原則として準防火地域を設定

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 地域防犯対策 ・ 住民の目による抑止力

キ 都市景観形成の方針

(ア) 自然景観

- 水晶山緑地を主とする緑は、自然と共生する重要な資源であることから、これら自然景観を保全します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ その他の農地は、無秩序な都市的土地利用の進展を防ぎ、広がりまとまりのある田園景観を保全

(イ) まちなみ景観

- 古くからの市街地や集落については、沿道緑化の促進や地区内に残る低・未利用地の活用等により、緑豊かなまちなみ景観を形成します。
- 計画的な整備がなされた地区については、敷地内緑化の促進や道路空間の緑化等により、憩いとやすらぎを感じられるようなまちなみ景観を形成します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ ブロック塀の除却・生け垣等の設置の支援
- ・ 建築物の建替え時における形態意匠のコントロール、緑化促進を目的とした地区計画等の策定の支援
- ・ 計画的な整備が完了している地区の幹線道路等における街路樹植栽を維持・保全

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 地域文化を高める

カ 都市防災の方針

- 平時から様々な分野での取組みを通じ、地域における自助・共助による防災・減災力を高め、災害に強い地域づくりを図ります。

- **災害対策基本法等の一部を改正する法律より、インフラ復旧・復興の迅速化についての方針が定められたことをうけ、迅速な復旧・復興に向けた対策を図ります。**

〈具体的な整備方針〉

- ・ 避難所等について、防災対策マップ等の誰にとってもわかりやすい資料の配布による市民への周知
- ・ 近隣商業地域については、原則として準防火地域を設定
- ・ **学校施設等の公共施設の老朽化対策の検討**

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 地域防犯対策 ・ 住民の目による抑止力

キ 都市景観形成の方針

(ア) 自然景観

- 水晶山緑地を主とする緑は、自然と共生する重要な資源であることから、これら自然景観を保全します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ その他の農地は、無秩序な都市的土地利用の進展を防ぎ、広がりまとまりのある田園景観を保全

(イ) まちなみ景観

- 古くからの市街地や集落については、沿道緑化の促進や地区内に残る低・未利用地の活用等により、緑豊かなまちなみ景観を形成します。
- 計画的な整備がなされた地区については、敷地内緑化の促進や道路空間の緑化等により、憩いとやすらぎを感じられるようなまちなみ景観を形成します。

〈具体的な整備方針〉

- ・ ブロック塀の除却・生け垣等の設置の支援
- ・ 建築物の建替え時における形態意匠のコントロール、緑化促進を目的とした地区計画等の策定の支援
- ・ 計画的な整備が完了している地区の幹線道路等における街路樹植栽を維持・保全

☞ 関連するWSの取組みアイデア ・ 地域文化を高める

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

0 計画の策定にあたって
1 現状特性の把握
2 都市づくり上の課題の整理
3 都市づくりの理念と基本目標
4 将来都市構造
5 都市づくりの方針
6 地域別構想
7 計画の推進に向けて
8 参考資料

【参考】まちづくりについての小学校区別アンケート

20年後、住まいの小学校区がどのようなまちになってほしいかを尋ね、回答結果を整理しました。

	n=	低層住宅地区	中高層住宅地区	一般住宅地区	沿道商業地区	住商複合地区	住工複合地区	教育研究地区	森林保全地区	森林活用地区	農地・農業振興地区	工業地区
全体	(283)	23.3%	11.0%	39.2%	27.9%	37.5%	3.2%	9.5%	49.8%	39.6%	26.1%	3.2%
香久山小学校区	(24)	16.7%	8.3%	41.7%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	58.3%	58.3%	25.0%	0.0%

※アンケート開催概要

2019年(令和元年)6月30日 にっしんわくわくミライ会議

2019年(令和元年)7月6日 にっしんわいわいフェスティバル

2019年(令和元年)9月15日 第18回にっしん夢まつり

全体より10ポイント以上高い項目
全体より5ポイント以上高い項目
全体より5ポイント以上低い項目
全体より10ポイント以上低い項目

【参考】地域別ワークショップにおける
主な地域のまちづくりの取組みアイデア

地域のまちづくりの取組みアイデアについては、道路や公園等の検討テーマごとに、市民、(市民と行政による)協働、行政という役割別に、取組みを整理しました。

	市民	協働	行政
道路	・交通マナーの順守徹底	・規制づくりと規制を守る意識	・交通規制の工夫が必要 ●
公共交通	・新たな移動手段の検討	・くるりんばすの利用向上 ●●● ・「市民交通」という考え方を実現	・くるりんばすの利用向上
安全・安心		・地域防犯対策	
土地利用		・既存の公共施設の利活用 ●	
暮らしやすさ		・住民の目による抑止力 ●	
景観(歴史・文化)		・地域文化を高める	
公園	・楽しいイベントの実施 ● ・花壇の活用	・雑草等の管理 ● ・適切で美しい眺めの維持 ・犬のふん書対策	・健康的でゆったりした施設整備
緑・水	・岩崎川の自然の管理 ・都市と自然のバランスを考える ●●	・街路樹の適正な管理 ● ・声大きい人の意見に左右されないようにする	・環境保全

※●は、特に重要視して取組むべきアイデアとして、参加者に投票をしてもらった結果を表しています。

【参考】まちづくりについての小学校区別アンケート

20年後、住まいの小学校区がどのようなまちになってほしいかを尋ね、回答結果を整理しました。

	n=	低層住宅地区	中高層住宅地区	一般住宅地区	沿道商業地区	住商複合地区	住工複合地区	教育研究地区	森林保全地区	森林活用地区	農地・農業振興地区	工業地区
全体	(283)	23.3%	11.0%	39.2%	27.9%	37.5%	3.2%	9.5%	49.8%	39.6%	26.1%	3.2%
香久山小学校区	(24)	16.7%	8.3%	41.7%	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	58.3%	58.3%	25.0%	0.0%

※アンケート開催概要

2019年(令和元年)6月30日 にっしんわくわくミライ会議

2019年(令和元年)7月6日 にっしんわいわいフェスティバル

2019年(令和元年)9月15日 第18回にっしん夢まつり

全体より10ポイント以上高い項目
全体より5ポイント以上高い項目
全体より5ポイント以上低い項目
全体より10ポイント以上低い項目

【参考】地域別ワークショップにおける
主な地域のまちづくりの取組みアイデア

地域のまちづくりの取組みアイデアについては、道路や公園等の検討テーマごとに、市民、(市民と行政による)協働、行政という役割別に、取組みを整理しました。

	市民	協働	行政
道路	・交通マナーの順守徹底	・規制づくりと規制を守る意識	・交通規制の工夫が必要 ●
公共交通	・新たな移動手段の検討	・くるりんばすの利用向上 ●●● ・「市民交通」という考え方を実現	・くるりんばすの利用向上
安全・安心		・地域防犯対策	
土地利用		・既存の公共施設の利活用 ●	
暮らしやすさ		・住民の目による抑止力 ●	
景観(歴史・文化)		・地域文化を高める	
公園	・楽しいイベントの実施 ● ・花壇の活用	・雑草等の管理 ● ・適切で美しい眺めの維持 ・犬のふん書対策	・健康的でゆったりした施設整備
緑・水	・岩崎川の自然の管理 ・都市と自然のバランスを考える ●●	・街路樹の適正な管理 ● ・声大きい人の意見に左右されないようにする	・環境保全

※●は、特に重要視して取組むべきアイデアとして、参加者に投票をしてもらった結果を表しています。